

1 単元名 みんなでわくわく大学たんけん

2 授業構成

(1) 教師と教材

本単元は、学習指導要領の次の内容に位置づけられている。

(3) 自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみを持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

(4) 公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気をつけて正しく利用することができるようにする。

本単元は、学校探検の発展でもあり、これから始まる地域学習の導入期の単元でもある。学習対象が身近にあること、支援してくれる人が大学にもいることを知るだけでなく、調べ方、聞き方などの学習方法を体験しながら学ぶこともできる。また、この学習をきっかけに、今までかかわりのなかった場所やものを意識するようになったり、今までとは違った見方ができるようになったりと、地域の一人として地域で生活している自分の存在を再認識させてくれる題材でもある。さらに、学習対象が隣接する大学であることから、何度も繰り返しかかわることができ、日常的なかかわりへと発展できるよさなどもある。

子どもたちは、探検を通じて自分たちの学校と大学とのかかわりに気づき、今まで知らなかったことを発見し、大学で働く人のやさしさ、あたたかさを感じ、その人たちとつながるすばらしさを実感してきている。

本時では、今までの探検活動を通して、発見したグループでのまとめを互いの学びとして交流し合い、より深まりのある学び、より確かな学びにしていきたいと考える。そのために、自分たちの発表と友だちの発表を重ね合わせながら聞くことができるよう、聞く観点を明確にしておきたい。子どもたちが、実際に自分の活動を振り返ることは、より高い気づきや次の活動への意欲につながっていくものと思う。したがって、「活動」からのアプローチとして授業を構成することにした。

(2) 子どもと教師

本校の生活科では、「自分なりに課題を見つけ、主体的にかかわろうとする力」「かかわりの中から気づきを広げ、深めようとする力」「自分の思いや願いを豊かに表現し、生活に生かす力」を育てたい力として考え、学習活動に取り組んでいる。

本学級の子どもたちは、活動的で興味あるものへは関心をもち、生き生きと取り組む。今まで、1年生と学校探検をしたり、「わくわくフェスティバル」へ招待したりして、ともに活動をしてきている。また、附属養護学校の友だちとは、「チャプチャプランド」や「ふれあい秋まつり」に招待し合いながら交流を深めてきている。今までは、友だちや下学年とのかかわりを中心に学習を進めてきているため、本単元では、身近な大学の人とのかかわりを深め、学びを広げていきたいと考えている。子どもたちは大学探検を通じて、そこで学ぶ人、働く人々のすばらしさに気づき、今まで知らなかったことやすてきなところを発見してきた。前時までに子どもたちは、「見てきたこと」「聞いたこと」「体験したこと」「感じたこと」について、グループの友だちと意見を出し合い、絵や写真、地図、文、インタビュー形式の劇化など多様な方法でまとめている。さらに本時では、友だちと協力し、互いの学びをわかりやすく伝え合うことで、子どもたち自身の「もっと行きたい」「もっと知りたい」「もっとかかわりたい」という意欲と追究心を育てていきたいと考える。

(3) 子どもと教材

本時の活動では、大学たんけんをした「動物病院」「農場」「付属図書館」「食堂」「生協」「研究室」「警備員さん」について、グループでまとめたことを発表し合う中で、自分たちの生活を支えている人やともに生活している人に対する思いを一人一人にもたせたい。人との出会いから、自分とのかかわりを見つめ、自分自身の生活に生かそうとする実践的行動力の源になるようにもしたい。子どもたちは、動物たちの命を救うために治療している動物病院のスタッフの姿から、「命の大切さ」を感じとっていた。また、野菜づくりのエキスパートとして研究を重ねている農場の方の姿に、夏野菜や冬野菜の栽培にチャレンジしている子どもたちは、野菜づくりや花栽培の知恵やコツを学ぼうとしていた。さらに、図書館を利用している学生や教授の姿、また、その人たちのために本などの資料を提供している職員の方の思いにもふれることができた。「食堂」で働く方の姿に、自分たちの給食を作るセンターの方の姿と重ねて見る子どももあった。「食」で学生や職員の健康を支え、元気にしていることに気づくことができた。そして、「生協」には、大学生活に必要な品物が沢山あり、利用する人のためにさまざまな工夫をしていると感じとっていた。また、「美術の研究室」「国際言語の研究室」では、どんなことを大学生は教わっているのか、実際に子どもたちも授業を体験することができた。そこで、将来自分も大学で学んでみたいという夢をもつ子どももいた。たくさんの方が安心して働き、学ぶことができるのも、大学構内で働いている警備員さんのおかげである。その警備員さんたちが実際にどんな思いや願いをもって仕事にあたっているのかインタビューすることによって、みんなの安全を守る大切な役割を担っていることに改めて気づくことができた。このように、それぞれのグループが学びとったことを、まとめる活動の段階において子ども同士がしっかり対話し思いを出し合っておくことが大切である。その場面において一人一人の気づきを大切に受け取り、価値付けていくようにしたい。前時での発表や話し合いで子どもが感じ取ったことも受け取り、共通点や相違点に着目しながら、自分とのつながりを考えさせていきたい。

さらに、本実践における大学の人とのかかわりで、自分たちがあたたかく見守られながら成長していることに気づいた子ども、出会った人たちの生き方に学び、将来の夢や憧れをもつことができた子どももいる。また、自分たちで計画、準備、実践できたという満足感や成就感によって自信がもてるようになった子どもも見られることは、今後自分たちの生活圏である地域社会への意識を高めることにつながっていくと考える。そこで今後も、自分がまわりの人とどうつながり生活していくのかを模索し、実践的行動力をもった学びへと高めていきたい。

3 単元の目標

- 大学で働く人々や学ぶ人々の様子に関心をもち、人々と接する喜びを味わいながら、意欲をもって計画的に大学探検をすることができる。 [生活への関心・意欲・態度]
- 大学でかかわった人々から学んだことや感じたこと、気づいたことを工夫してまとめ、自分たちなりの方法で表現することができる。 [活動や体験についての思考・表現]
- 大学の人々とのふれ合いを大切にし、その人たちのやさしさやあたたかさ、自分とのつながりに気づくことができる。 [身近な環境や自分自身への気づき]

4 学習計画（全18時間）

第1次 大学に行ってみよう（4）

- ・大学たんけん
- ・発見したことを話し合う
- ・大学生にインタビューする

第2次 もっと大学のことを知ろう（5）

- ・たんけんの計画を立てる
- ・グループごとにたんけんに出かける

第3次 「発見」を伝えよう（9）

- ・発見したことをまとめる
- ・発表会を開く・・・本時
- ・2組の友だちと発表会を開く
- ・お礼の手紙を書く

5 本時の学習について

（1）本時の目標

- ・自分たちが出会った人や見つけたことよさがわかりやすく伝わるように、絵や写真、映像、劇化を取り入れながら、友だちと協力し工夫して発表することができる。
- ・自分たちの発見との共通点や相違点に着目しながら、友だちの発表に興味をもって聞き、自分の思いを深めたり広げたりすることができる。

（2）本時の活動

- ・自分たちが探検し、まとめたことをグループの友だちと協力して発表する。
- ・友だちの発表を聞いたり、探検で学んだことを話し合ったりする。

（3）期待される児童の様相

- ア 大学探検で出会った人や見つけたことよさが伝わるように、友だちと協力してわかりやすく発表をする。
- イ 自分たちの発表と友だちの発表を重ね合わせながら聞き、人とかかわりから学んだことについて、自分なりの思いをもつ。
- ウ 今後も大学のことをもっと知りたい、もっとたくさんの人とかかわってみたいという思いをもつ。

(4) 本時の展開 (教師の意図 全体への支援 個への支援)

学 習 活 動	教師の支援・意図
<p>1 . 前時までの活動を振り返り , 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○前時に発表したグループの発見を紹介し , 本時もわかりやすく伝えるよう意欲付けを図る。</p>
<p>わくわく大学たんけんで , 出会った人や発見したことを伝え合おう。</p>	
<p>2 . 大学探検で発見したことを , 各グループごとに発表する。</p> <p>○大学農場 ○図書館 ○動物病院 ○食堂 ○警備員さん</p>	<p>○各グループが , 絵や写真 , 地図などを活用し , 自分たちなりに工夫した方法で発表できるよう働きかける。</p> <p>探検活動の中で , どのようなことを発見したのか , かかわりの中で何を感じたのか , 伝えたいポイントを明確にしておく。</p> <p>前時に発表したグループには , 自分たちの発見と共通しているところ , 違うところに着目しながら聞くように促す。</p> <p>もっと聞いてみたいことを友だちに質問し合うことで , 発表で伝わっていないところを認識させる。</p>
<p>3 . 大学たんけんでの人との出会いからどんなことを感じとったか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学にはたくさんの働く人 , 学ぶ人がいるのだな。 ・ぼくたちの学校も大学とのつながりがあるのだな。 ・わたしたちの生活は , いろいろな人に見守られているのだな。 ・もっともっと大学のことを知りたいいろいろな人と出会ってみたいな。 ・自分たちの生活する地域の人にもインタビューしてみたいな。 	<p>大学の人とのかかわりを通して , 自分とのかかわりを考えさせたい。</p> <p>探検後に , 一人一人が大学の人とのかかわりの中で感じたことや自分とのかかわりについて考え , 発見カードに記述させておく。</p> <p>大学と協力し合っていることの一つとして警備員さんや実習の先生の存在に気づかせる。</p> <p>たくさんの働く人とそれを学ぶ人とがともにつながり , 支え合って生活していることに気づかせる。</p> <p>本校でも , 守衛さん , 給食センターの調理員さんや栄養士さんなどが , 自分たちの安全や健康を支えてくださっていることに気づかせる。</p>
<p>4 . 学習の振り返りをする。</p>	<p>振り返りカードに今日のめあてが達成できたか , 学習を振り返らせ , 友だちにわかりやすく伝えることができたか , 共感的に発表を聞くことができたかを確認させる。</p>
<p>5 . 次時の学習内容を確認し , 今後の見通しをもつ。</p>	<p>○友だちとの新たな活動の広がりや発展を期待していることを伝え , 次時の 2 組との発表会に向けての意欲付けを図りたい。</p>